



し しん かい
志 真 会

滑川市議会議員

会報 2023
11月発行

例年以上に残暑が厳しかった本年ではございましたが、秋分を過ぎたあたりから急に朝晩の冷え込みが厳しくなり冬が近づいてきたように思えます。皆様、元気にお過ごしでしょうか。我々志真会は、皆様の声を聴き、良い滑川市を気づくために働いてまいりますので今後ともどうぞご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ゼロカーボンシティ宣言を公表

初めに、今本議会開催初日の市長提案理由説明時に突如、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ宣言」が表明されました。これは、「滑川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定に際して、国より「地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業」の採択を受けたことによるためです。これにより、市民、事業者、行政が一体となって推進していく取組や、具体的な目標等を定めていくこととしています。また、デコ活の推進及び市内での後押しをするために「デコ活宣言」も同時期に行っております。デコ活とは、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称のことです。主に二酸化炭素(CO2)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良い(Eco)を含む「デコ」と活動・生活を組み合わせたものになります。皆様と共に脱炭素社会を作り上げていきましょう。

9月定例会の主な補正予算について

改めて、市議会においては、9月度定例会にて補正予算等の議案が原案通り全会一致で可決を致しました。今回は、補正予算の一部を皆様に知っていただければと思います。

令和5年9月度の補正予算額は、**一般会計 1億5755万円**（うち、滑川市一般財源 1億2767万円）となりました。話題になったものや予算額が多いものは以下の通りです。

①子育て支援アプリ導入費（総額223万円）

妊娠時から子育ての各段階において、伴走型相談支援の充実を図るために、母子健康手帳やオンライン予約機能、地域の子育て情報の発信などの支援ツールとして予算建てされました。これにより、これまであったスマートフォン向けのアプリ『はぐハグ滑川』は、廃止され新たに導入する子育て支援アプリに統一されることとなります。

②西加積消防分団のポンプ車更新費（総額1,986万円）

配備から20年以上経過した消防ポンプ車に対して車両の更新を随時行っております。今年度は、西加積分団の消防ポンプが経年劣化により放水圧の低下が頻発するようになったため消火活動に支障をきたさぬよう更新することとなりました。これにより、現時点で20年以上経過しているポンプ車は、北加積分団のみとなりましたが、来年度の更新予定となりました。市民の安心安全の確保に努めてまいります。

以上簡単ではございますが、令和5年9月度の補正予算の1部内容をお伝えさせていただきました。次ページ以降に会派議員が質問した内容を載せてあります。また、皆様のご意見等も多くお聴きしたいと思っております。私たちを見かけられましたら、お声がけください。何卒よろしくお願い申し上げます。

竹原正人 議員



議会で質問した内容

9月定例会では、①市長提案理由説明の内容について。

②熱中症対策について。③ふるさと龍宮まつり海上花火大会について。④なめりかわ二十歳の式典について。以上4項目について質問をしました。市内最大の祭りでもある、ふるさと龍宮まつり海上花火大会が盛大に開催されました。コロナ明けでもあり、多くの賑わいがありました。それに伴い、たくさんの苦情も頂きました。花火の原材料の高騰もあり、次年度以降の市の対応について伺ったところ、当局から、「海上花火大会については、観光の目玉の1つであり、今後も継続していく必要があり、経費の抑制や新たな収入方法について実行委員会で協議し、市として必要な支援を行いたい」との答弁でした。今年は市制70周年の特例予算だったことから、来年は通常予算に戻ってしまう事で、規模の縮小は避けたいところです。

最近気になること 今年の夏は異常な暑さでした。冬の降雪はどうなるのだろうか、最近の異常気象が気になります。

大浦豊貴 議員



議会で質問した内容

7、8月に滑川市立小中学校通学区区域審議会が開催さ

れ、指定校変更の許可基準の追加により、通学区の弾力化を図るという考えが示されました。これまで教育委員会へ指定校の変更に関する問い合わせは、非常に多くありましたが、地域の子どもたちは地域で産み育てるという考えや、また通学区の変更に対する反対の声もあり、変更を望むすべての方々には対応が図られてきませんでした。小中学校は地域コミュニティの核だということは私も理解しています。しかし、今後必ず訪れる人口減少により地域格差を起こさない広域的な地域コミュニティの創出・各小中学校の改修に伴う歳出の抑制や小中学校を核とする防災時等の機能強化・少子化による教育格差を起こさない環境整備が必要です。指定校変更の弾力化は、単に学校を変更することだけでなく、今後訪れる課題に対応した地域コミュニティの創出につながると考えます。持続可能な社会構造の構築は、地方自治体・市議会の責務です。

谷崎潤一 議員



議会で質問した内容

令和5年8月、他の都道府県の小中学校で熱中症における事故が2件発生し、尊い命が失われました。また、市内小中学校の熱中症対策について数多く相談を受けたことで、9月議会では市内小中学校の熱中症対策と方針を質問させて頂きました。

ソフト面では児童生徒の安全を最優先に考え、水分と塩分の補給や炎天下の活動を控え、暑さ指数を小まめに確認し、一定の数値を超えた場合は中止するなど熱中症対策を進めているとの答弁でした。夏休み明けすぐの炎天下のグラウンドにおける運動会の練習や夏休み中の部活動など、運動会の時期の見直しや、夏休み中の部活動の時間帯の見直しなど解決すべき内容は多くあるように感じられました。

ハード面でも、グラウンドなどで使用するミスト付き扇風機など熱中症対策に特化した物を全校配置など、令和6年度の予算の中にできるよう、お願いいたしました。スピード感のある対策を当局にお願いしたいと思っております。

最近気になること 障害を持たれた方のスポーツに対する体育館の開放について、他の都道府県の市町村と滑川市の温度差を感じております。体制を築いていくため提案してまいります。

吉森真人 議員



議会で質問した内容

大きく3つについて質問しました。①「滑川市の防災対策について」本年8月20日に行われた滑川市総合防災訓練が、東地区西地区の住民に対してのみ行われたことに質問。来年度以降は他の地区にて行い、今回の反省点等を踏まえてより良い防災訓練にしていこうと回答を得ました。また災害時はペット同行避難を行っていいと回答を得たので飼い主に周知徹底して頂きたいと伝えました。②「小中学校の施設について」避難施設でもある小中学校の太陽光発電機の修繕のお願いと体育館への空調を整備してほしいとお願いしました。③「LGBTQについて」LGBT法が施行されたことに対し本市や学校教育における対応を質問。性的マイノリティーに関しては、多くの方に理解してもらう必要があるため、周知徹底をお願いしました。以上ではありますが、今後とも応援よろしくお願いします。

最近気になること 滑川市内の多くの観光施設が、老朽化等により閉館や機能維持が出来ていない事が気になります。観光により関係人口を増加させられることを考えると、施設がなくなるという事に危機感があるため新たな対応を模索したい。

安達真隆 議員



議会で質問した内容

今回の質問は、大きく3つの質問をいたしました。①市民の皆様が非常に関心が高いみのわ温泉について、温泉が供給されなくなり、進捗状況を質問いたしました。当局からは、現在早月川温泉株式会社と温泉掘削会社が協議して早期に復旧できるように作業を始めたという回答があり、少しでも温泉供給できるように再度お願いいたしました。②滑川市の水道事業について尋ねました。8月に水道検針データを誤って消去してしまう事案があり、滑川市民の一部の方に迷惑をかけてしまったことについて市民に対して、説明を周知されているか、水道料金の徴収を適正に行うことを確認いたしました。③ゼロカーボンシティ宣言について質問しました。滑川市庁舎内にEVスタンドの設置をしてはどうかと提案いたしました。当局からは、市役所庁舎敷地内も候補として考えていると回答いただきました。今後も温室効果ガスの排出を極めて少なくし、持続可能な社会に向けて提案していきます。

最近気になること 日本経済の悪化

青山幸生 議員



議会で質問した内容

9月4日に母が亡くなり、葬儀のため一般質問を行えませんでした。市民の負託に応えることができず申し訳ございません。

決算特別委員会の内容

地方自治法の第二節、権限の中の議決事件にはこう記載してあります。第96条、普通地方公共団体の議会は、次に掲げる事件を議決しなければならない。

①条例を設け又は改廃すること。②予算を定めること。③決算を認定すること。上記に基づき今年度の滑川市議会の決算特別委員会、は9月19日(火)から21日(木)の3日間と翌週26日(火)の合わせて計4日間で行いました。水野市政の目玉政策である自治体DXでは市の業務システムの効率化、情報セキュリティ強化及び安定的なシステム運用のための対策を行っています。決算額は1億3,776万円で主にクラウドサービス及びネットワーク保守業務委託に所要の予算をかけています。市民へ迅速な対応をより行うために業務システムの効率化は進めていかなくてはなりません。今後は職員の空いた時間を有効活用することにより、市民サービスが本当に向上したのかを見極めていかなければと考えています。